

生きものの教室 ～春・夏・秋・冬～

今年度も「生きものの教室」を年間4回（春・夏・秋・冬）開催しました。有馬富士学習センターから、生物や植物についての専門的な知識をおもちの先生をお招きし、低・中学年の児童を対象に、学校や母子の里山を散策し、植物や生きものの観察や採集を行いました。

春の生きものの教室（5月8日）

「春見つけ、学校近くにいる生きものの観察」

網を持って学校周辺の散策を行いました、チョウなどの生きものを捕まえたり、草花を採集したりし、顕微鏡で観察しました。更にスケッチをして細かい部分まで研究しました。有馬富士自然学習センターの先生を講師に迎えて、大型テレビで生きものを拡大し、興味深いお話を聞くことができました。



夏の生きものの教室（7月3日）

「川の中の生きものの観察」

網を持って青野川周辺の観察を行いました。水カマキリ、ヤゴなどの生きものを捕まえて顕微鏡で観察しました。更にスケッチをして細かい部分まで研究しました。春の観察よりも細かいところまで観察しました。有馬富士自然学習センターの先生を講師に迎えて、大型テレビで生きものを拡大し、興味深いお話を聞くことができました。



秋の生きものの教室（10月30日）

「学校近くの植物や生きものの観察」

網を持って学校周辺を歩き、虫たちを捕まえました。また途中で咲いていた草花もたくさん採集しました。捕まえた虫や採集した植物を拡大ルーペや顕微鏡を使って観察して、観察記録を書きました。3回目の観察なので、観察記録も詳しくなりました。



冬の生き物教室（2月5日）

「土の中の生きものの観察」

学校で借りている畑へ行き、コンピューターや先生のアドバイスのもと、土を掘りお越し、冬の土の中にはどんな生きものがいるのか、調査しました。寒波の中でしたので、土も凍結していましたが、一生懸命掘り、探すことができました。4回目の観察ということもあり、スケッチや観察、発表もとても上手になりました。



川の中の生物、地面を舞台に生きている生きもの、雪の下で越冬する生物など、年4回の生きものの教室は、子どもたちにとって生物に対して、一層興味を引きつける機会となりました。